

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 第2回松川町環境調査員会議
- 2 開催日時 令和5年12月15日(金) 午後7時00分から午後7時50分まで
- 3 開催場所 松川町役場2階 協議会室
- 4 出席者氏名 環境調査員 9名
古町:竹内調査員、上新井:矢澤調査員、名子:菅沼調査員、
大島:斉藤調査員、上片桐:松尾調査員・土屋調査員、
部奈:下平調査員、生東:松澤調査員・正井調査員
欠席者 福与:田澤調査員
事務局 伊藤住民税務課長、米山環境係長、塩澤主事
- 5 議題(公開又は非公開の別)

不法投棄の状況と対策について	公開
意見交換	公開
その他	公開
- 6 非公開の理由(会議を非公開とした場合)
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称 ー
- 9 審議の概要
 - (1)開 会 伊藤課長
 - (2)あいさつ 伊藤課長
 - (3)協議事項 進行:伊藤課長
 - ①不法投棄の状況と対策について
 - 令和5年度中の不法投棄の状況
 - ・町の報告 不法投棄の発見・処理件数を事務局より説明
 - ・環境調査員の報告 第1～2四半期の巡視状況について調査員より説明

○今後の対策 事務局より説明

- ・不法投棄防止ネット運用について検討
- ・広報(広報まつかわ、音声放送など)活動の強化
- ・不法投棄の原因究明と防止の強化(看板)

(調査員)

国道端はコンビニやドン・キホーテで買ったと思われる惣菜などのごみが多いため、販売している事業所にポイ捨てをしないようなPR活動をしてもらうよう協力してもらったらどうか。

(事務局)

町内でも慈善事業でゴミ拾いをしている事業所もある。

(調査員)

ゴミ拾いというよりもポイ捨て防止を啓発するような活動も1つの方法ではないか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

②意見交換

(調査員)

ゴミ拾いを回数重ねていくことで投棄されているごみの量が少なくなっていくのを感じた。ワンマンで交通量の多い所、国道等で作業をすることに危険を感じた。ワンマンでするのには限界を感じたため、事故にあうことの危険性について検討してほしい。

(事務局)

調査員の方のゴミ拾いは可能な範囲での作業をお願いしている。町でも危険個所についての通報があった場合には2人体制で作業をするように努めている。そのため、危険と感じた箇所等は町へ情報共有してほしい。

(調査員)

上片桐駅周辺は定期的に松川高校の生徒が拾ってくれているため、比較的小みが少ない。収集にはビニール袋使用しているため、専用袋を役場で支給していただいた方が良いのではないか。

(事務局)

活動の詳細も含めて確認します。

③その他

- ・第3、第4四半期報告書の提出のお願い
- ・自動車表示マグネットの引き継ぎ(年度変わり時)

(調査員)

地域でも複数の団体がゴミ拾いをしているため、活動内容が重複しているように感じる。しかし、そのおかげで小みが少ないのかもしれない。

(事務局)

確認します。

(調査員)

自動車用マグネットが上手に付かない。

(事務局)

リアガラスの内側に貼るのも1つの方法ですが、自動車の型によって付きづらいものもあると思うので意見として参考にさせていただきます。

(調査員)

草や落ち葉が多い箇所及び竹藪等のごみが多く、隠れやすいと感じたので町できれいにできないか。不法投棄されない環境作りが必要ではないか。

(事務局)

町でも担当部署と密に情報共有を行っており、町で可能な範囲については共同で作業を実施している。しかし、私有地等は町でも関与することができないため、ご理解いただきたい。

(4)閉 会 伊藤課長